

— 総括表 —

◆ 事業計画

地域の現状と今後の方向性

令和4年9月、川井地域の人口は13,878人、高齢者は3,877人、高齢化率27.9%となっております。区域の大半は市街化調整区域で、自然土地利用が多く緑に恵まれています。住民行事等で地域住民の交流は継続しています。今後は地域特性を踏まえて、地域課題を専門的な視点でとらえて地域のテーマでもある「多世代がつながる、支えあう心豊かな町」となるよう業務運営していきます。

今年度の重点的な取組

新規	継続	— 具体的な取組内容 —
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	子供のころから福祉を考えられる環境の整備の為、障がい理解・認知症啓発事業を継続していく。多問題解決に向け、民生員児童員など地域各種委嘱団体との連携を強化し、地域への問題共有を推進していく。
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	誰もが担い手であり受け手であることを地域と共有しながら、誰もが活躍できる場の提供を行う。多世代ボランティア研修会の開催を行う。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	毎月専門職間会議を通じた情報の共有をおこない、地域情報を更新し5職種連携を推進する。地域課題解決に向けた事業を5職種+ケアプラザ全体での事業を行っていく(文化祭・障がい理解講座・音楽会など)
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	区計画・地区別計画をケアプラザ全体で共有し、介護事業所、部署を超えた地域団体と共同し事業を開催し、地区別計画の周知を継続する。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	地域見守り活動の後方支援をしながら、ケアプラザの役割を広い世代へ周知し、迅速な支援につなげる。親の介護世代である中学校PTAや、ヤングケアラー世代となる児童に対して、ケアプラザ相談窓口機能の周知をはかる。

◆ 事業報告・事業実績評価

振り返り


区からのコメント


# 令和5年度横浜市川井地域ケアプラザ事業計画書・報告書(施設運営、介護保険事業)

## 1 施設の適切な運営について

	公正・中立性の確保について	コンプライアンスへの対応について (事故防止、個人情報保護等)
取組計画	職員の言動を含め、利用者等また他の事業者からの不信を招く事がないよう、公正・中立性を持って対応します。また、事業者の選定の相談をした方に対し、事業者等一覧表等を掲示する等、複数の選択肢がある事を相談者が知る機会を設けた上で相談者の意思を尊重し、最終的に相談者が選定の判断ができるようご案内します。	事故防止マニュアルに基づき、対応フロー、連絡体制、報告判断基準を明示しています。正確な動作を行う事を徹底するとともに、研修等も実施します。また、個人情報保護規程に従い適切な取扱いをマニュアルに定め研修も実施してまいります。個人情報保護チェックリストを用い年1回以上はセルフチェックを行い注意喚起してまいります。
実績		

## 2 指定介護予防支援事業、居宅介護支援事業

	指定介護予防支援事業 第1号介護予防支援事業	居宅介護支援事業
目標	利用者本人が目標を理解した上で、その達成のために必要なサービスを主体的に利用して、目標の達成に取り組んでいけるような計画を作成し、実行できている。	介護保険法等の関係法令を遵守し、可能な限り居宅において、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるように配慮した事業ができてい
利用料金	【サービスに係る費用】 指定介護予防支援に要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十九号)及び横浜市介護予防ケアマネジメント実施要綱に基づく金額	【サービスに係る費用】 指定居宅介護支援に要する費用の額の算定に関する基準(厚生省告示第二十号)に基づく金額
	【その他料金】	【その他料金】
職員体制	保健師 1名 主任介護支援専門員 1名 社会福祉士 1名	管理者 1名 介護支援専門員 4名(常勤兼務1名 常勤専従3名)
契約者数		

### 3 通所系サービス事業

	通所介護・第1号通所介護	(介護予防)認知症対応型通所介護	地域密着型通所介護
目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご利用者の意向を伺いながら、多様化するご利用者ニーズに応じていけるデイサービスを構築していきます。</li> <li>・機能訓練プログラムの拡充を図り、身体機能の維持、向上に努めます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家族会等を通じてご家族と顔の見える関係性を築き、ご家庭で抱える問題を共有し、介護負担の軽減に繋がります。</li> <li>・個々のご利用者特性を把握し、可能性を引き出せるケアを実践します。</li> </ul>	
実施体制	<b>【実施日数】</b> 365日 <b>【提供時間】</b> 9:35～16:35 <b>【定員】</b> 42名	<b>【実施日数】</b> 365日 <b>【提供時間】</b> 9:35～16:35 <b>【定員】</b> 12名	<b>【実施日数】</b> <b>【提供時間】</b> <b>【定員】</b>
利用料金	<b>【サービスに係る費用】</b> 指定居宅サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生省告示第十九号)及び横浜市介護予防・日常生活支援総合事業実施要綱に基づく金額	<b>【サービスに係る費用】</b> 指定地域密着型サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十六号)及び指定地域密着型介護予防サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十八号)に基づく金額	<b>【サービスに係る費用】</b> 指定地域密着型サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十六号)に基づく金額
	<b>【その他料金】</b> 食費750円・教養娯楽費・紙パンツ、おむつ各種100円・尿とりパット20円・時間延長費用600円/30分	<b>【その他料金】</b> 食費750円・教養娯楽費・紙パンツ、おむつ各種100円・尿とりパット20円・時間延長費用800円/30分	<b>【その他料金】</b>
職員体制	管理者 1名 介護職員 15名 生活相談員 4名 その他 12名 看護職員(機能訓練指導員兼務) 3名	管理者 1名 介護職員 9名 生活相談員 4名 機能訓練指導員(看護職員兼務) 3名	
契約者数等	<b>【延べ利用者数】</b> <b>【契約者数】</b>	<b>【延べ利用者数】</b> <b>【契約者数】</b>	<b>【延べ利用者数】</b> <b>【契約者数】</b>

令和5年度「横浜市川井地域ケアプラザ」  
収支予算書及び報告書（一般会計）＜地域活動交流＞

(単位：円)

収入の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	17,308,443		17,308,443		17,308,443	横浜市より
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）			0		0	
雑入	0	0	0	0	0	
印刷代			0		0	
自動販売機手数料			0		0	
その他			0		0	
その他	7,338,726		7,338,726		7,338,726	
収入合計	24,647,169	0	24,647,169	0	24,647,169	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	15,750,427	0	15,750,427	0	15,750,427	
本俸	10,000,000		10,000,000		10,000,000	
社会保険料	1,900,000		1,900,000		1,900,000	
手当計	3,718,427		3,718,427		3,718,427	
健康診断費	6,000		6,000		6,000	
勤労者福祉共済掛金	0		0		0	
退職給付引当金繰入額	126,000		126,000		126,000	
その他			0		0	
事務費	1,964,305	0	1,964,305	0	1,964,305	
旅費	20,000		20,000		20,000	外出交通費
消耗品費	200,000		200,000		200,000	事務用品他
会議随い費	16,000		16,000		16,000	運営協議会経費他
印刷製本費	120,000		120,000		120,000	複合機カウンター料金
通信費	260,000		260,000		260,000	電話料金、郵送料他
使用料及び賃借料	10,560	0	10,560	0	10,560	
自販機目的外使用料（横浜市への支出）	10,560		10,560		10,560	
その他	0		0		0	
備品購入費	100,000		100,000		100,000	
図書購入費	0		0		0	
施設賠償責任保険	16,000		16,000		16,000	
職員等研修費	10,000		10,000		10,000	
振込手数料	1,000		1,000		1,000	
リース料	200,000		200,000		200,000	節電機器レンタル料、PC、マシントラブル料他
手数料	0		0		0	
地域協力費	0		0		0	
その他	1,010,745		1,010,745		1,010,745	節電機器管理費、産業医委託費他
事業費	550,000	0	550,000	0	550,000	
運営協議会経費	0		0		0	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）	550,000		550,000		550,000	
その他			0		0	
管理費	5,908,437	0	5,908,437	0	5,908,437	
光熱水費	2,576,437		2,576,437		2,576,437	
清掃費	1,680,000		1,680,000		1,680,000	
機械整備費	76,000		76,000		76,000	
設備保全費	976,000	0	976,000	0	976,000	
空調衛生設備保守	601,000		601,000		601,000	
消防設備保守	49,000		49,000		49,000	
電気設備保守	197,000		197,000		197,000	
害虫駆除清掃保守	19,000		19,000		19,000	
駐車場設備保全費	0		0		0	
その他保全費	110,000		110,000		110,000	
共益費	0		0		0	
その他	600,000		600,000		600,000	
修繕費	474,000		474,000		474,000	予算：指定額
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税			0		0	
消費税	0		0		0	
印紙税			0		0	
その他			0		0	
その他			0		0	
支出合計	24,647,169	0	24,647,169	0	24,647,169	
差引	0	0	0	0	0	
自主事業費 収入	0	0	0	0	0	
自主事業費 支出	550,000	0	550,000	0	550,000	
自主事業 収支	△ 550,000	0	△ 550,000	0	△ 550,000	
管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	10,560	0	10,560	0	10,560	目的外使用許可(自販機)による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	△ 10,560	0	△ 10,560	0	△ 10,560	

\*各大大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合があります。

令和5年度「横浜市川井地域ケアプラザ」  
収支予算書及び報告書（特別会計）＜包括等＞

収入の部

(単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料【包括】	23,769,424		23,769,424		23,769,424	横浜市より
指定管理料【介護予防】	154,000		154,000		154,000	横浜市より
指定管理料【チームオレンジ】	0		0		0	横浜市より
指定管理料【生活支援】	5,546,234		5,546,234		5,546,234	横浜市より
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【包括】			0		0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】			0		0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】			0		0	
雑入	0	0	0	0	0	
印刷代			0		0	
自動販売機手数料			0		0	
その他			0		0	
その他	0		0		0	
収入合計	29,469,658	0	29,469,658	0	29,469,658	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	26,051,600	0	26,051,600	0	26,051,600	
本俸	15,300,000		15,300,000		15,300,000	
社会保険料	3,380,000		3,380,000		3,380,000	
手当計	6,855,000		6,855,000		6,855,000	
健康診断費	16,600		16,600		16,600	
勤労者福祉共済掛金	0		0		0	
退職給付引当金繰入額	500,000		500,000		500,000	
その他	0		0		0	
事務費	700,000	0	700,000	0	700,000	
旅費	30,000		30,000		30,000	外出交通費
消耗品費	60,000		60,000		60,000	事務用品他
会議購入費	0		0		0	
印刷製本費	57,000		57,000		57,000	複合機カウンター料金
通信費	150,000		150,000		150,000	電話料金、郵送料他
使用料及び賃借料	10,560	0	10,560	0	10,560	
自販機目的外使用料（横浜市への支出）	10,560		10,560		10,560	
その他	0		0		0	
備品購入費	0		0		0	
図書購入費	0		0		0	
施設賠償責任保険	15,000		15,000		15,000	
職員等研修費	20,000		20,000		20,000	
振込手数料	0		0		0	
リース料	105,000		105,000		105,000	節電機器レンタル料、PC、マットレンタル料他
手数料	0		0		0	
地域協力費	0		0		0	
その他	252,440		252,440		252,440	節電機器管理費、産業医委託費他
事業費	1,034,000	0	1,034,000	0	1,034,000	
協力医	630,000		630,000		630,000	予算：指定額
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【包括】	50,000		50,000		50,000	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】	154,000		154,000		154,000	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【チームオレンジ】	0		0		0	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】	200,000		200,000		200,000	
その他	0		0		0	
管理費	1,558,058	0	1,558,058	0	1,558,058	
光熱水費	694,058		694,058		694,058	
清掃費	444,000		444,000		444,000	
機械整備費	18,500		18,500		18,500	
設備保全費	261,500	0	261,500	0	261,500	
空調衛生設備保守	161,000		161,000		161,000	
消防設備保守	13,000		13,000		13,000	
電気設備保守	52,500		52,500		52,500	
害虫駆除清掃保守	5,000		5,000		5,000	
駐車場設備保全費	0		0		0	
その他保全費	30,000		30,000		30,000	
共益費	0		0		0	
その他	140,000		140,000		140,000	
修繕費	126,000		126,000		126,000	予算：指定額
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税			0		0	
消費税			0		0	
印紙税			0		0	
その他			0		0	
その他			0		0	
支出合計	29,469,658	0	29,469,658	0	29,469,658	
差引	0	0	0	0	0	

自主事業費 収入	0	0	0	0	0	
自主事業費 支出	404,000	0	404,000	0	404,000	
自主事業 収支	△ 404,000	0	△ 404,000	0	△ 404,000	

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	10,560	0	10,560	0	10,560	目的外使用許可(自販機)による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	△ 10,560	0	△ 10,560	0	△ 10,560	

※各大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合があります。

令和5年度 地域ケアプラザ収支予算書及び報告書<介護保険事業分>

施設名:横浜市川井地域ケアプラザ

	科目	第1号介護予防支援			介護予防支援			居宅介護支援			通所介護			第1号通所介護		
		予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引
収入	介護保険収入	2,907		2,907	4,056		4,056	29,273		29,273	125,691		125,691	9,298		9,298
	その他	0	0	0	0	0	0	2,670	0	2,670	1,354	0	1,354	150	0	150
	事業・負担金収入			0			0			0			0			0
	受託収入			0			0	2,670		2,670			0			0
				0			0			0			0			0
				0			0			0			0			0
				0			0			0			0			0
	その他			0			0			0	1,354		1,354	150		150
<b>収入合計(A)</b>	<b>2,907</b>	<b>0</b>	<b>2,907</b>	<b>4,056</b>	<b>0</b>	<b>4,056</b>	<b>31,943</b>	<b>0</b>	<b>31,943</b>	<b>127,044</b>	<b>0</b>	<b>127,044</b>	<b>9,448</b>	<b>0</b>	<b>9,448</b>	
支出	人件費			0			0	22,860		22,860	88,572		88,572	11,429		11,429
	事務費	55		55	76		76	1,845		1,845	8,452		8,452	1,090		1,090
	事業費			0			0			0	10,355		10,355	1,336		1,336
	管理費			0			0	530		530	6,836		6,836	882		882
	その他	2,035		2,035	2,884	0	2,884	0	0	0	842	0	842	0	0	0
	利用者負担軽減額			0			0			0	48		48			0
	消費税			0			0			0			0			0
	介護予防プラン委託料	2,035		2,035	2,884		2,884			0			0			0
				0			0			0			0			0
	その他			0			0			0	794		794			0
<b>支出合計(B)</b>	<b>2,089</b>	<b>0</b>	<b>2,089</b>	<b>2,960</b>	<b>0</b>	<b>2,960</b>	<b>25,235</b>	<b>0</b>	<b>25,235</b>	<b>115,057</b>	<b>0</b>	<b>115,057</b>	<b>14,737</b>	<b>0</b>	<b>14,737</b>	
<b>収支 (A) - (B)</b>	<b>818</b>	<b>0</b>	<b>818</b>	<b>1,096</b>	<b>0</b>	<b>1,096</b>	<b>6,708</b>	<b>0</b>	<b>6,708</b>	<b>11,987</b>	<b>0</b>	<b>11,987</b>	<b>-5,289</b>	<b>0</b>	<b>-5,289</b>	

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業を実施している場合は、事業ごとに列を追加して記載してください。

令和5年度 自主事業計画書・報告書

<p>■ 事業</p> <p>1：地域活動交流事業 2：地域包括支援センター運営事業</p> <p>3：生活支援体制整備事業 4：共催（1と2） 5：共催（1と3）</p> <p>6：共催（2と3） 7：共催（1と2と3）</p>	<p>■ 事業の性質</p> <p>1：優先的に取り組みが求められる事業</p> <p>2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業</p>	<p>■ 主な対象者、従たる対象者</p> <p>1：高齢者 2：障害児・者 3：養育者及び乳幼児</p> <p>4：子ども・青少年 5：地域 6：事業者</p> <p>7：その他</p>
---	---	--

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者(複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
1	認知症講座	令和3年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	認知症について正しい理解を促し、地域での見守り、早期発見早期対応の普及啓発に繋げる	5:地域	1	9/下旬 認知症サポーター養成講座		
2	消費者被害防止講座	令和3年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	地域住民の消費者被害防止の普及啓発	5:地域	1	下期 動画や寸劇を用いて犯罪等の手口と対抗するための心構えや方法を学ぶ。 講師は包括職員、消費生活推進員を予定。		
3	都岡小学校認知症サポーター養成講座	平成29年度	4:共催(1と2)	1:優先的に取り組み	認知症を正しく理解し、当事者やご家族の困りごとに寄り添い、日常的に誰でも思いやりを持って、相手の立場にたって行動するきっかけを提供する。	4:子ども・青少年		45分授業を使って5・6年生を対象に実施。		
4	エンディングノート活用講座	令和4年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	旭区版エンディングノート、もしも手帳を広め、高齢者の権利擁護につなげる	1:高齢者	5	①6/30 ②10/31 ③12/19 ①エンディングノート書き方 ②8050世代 親なき後への備え ③遺言・相続・成年後見制度		
5	ふれ愛サロンかわい	令和4年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	介護者支援、認知症カフェ	5:地域	6	毎月1回 1時間程度 介護者同士の情報交換、介護等の情報提供		
6	GOGO★川井アカデミー	令和2年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	地域にお住まいの高齢者に対し、介護予防や元気づくりについて楽しく学ぶ機会を年間を通じて定期的に提供し、自発的かつ継続的に健康活動や介護予防活動に取り組めることを目的とする	1:高齢者	5	①4/21(体力測定・運動)②5/19(運動)③6/16(栄養)④7/21(認知症予防)⑤8/31(口腔)⑥9/15(認知症予防)⑦10/20(体力測定)⑧11/17(運動)⑨11/30(口腔)⑩12/15(認知症予防)⑪1/19(栄養)⑫2/16(運動)⑬3/15(運動)		
7	出張講座	令和5年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	ケアプラザに来館出来ない地域住民の方に来てもらい、その地域のニーズや課題を抽出する	1:高齢者	5	①7/2吹上自治会 他の地区でも調整中(8月以降検討)		
8	活動のネタ講座	令和5年度	2:地域包括支援センター運営事業	2:発展させるねらい	地域サロンや自主サークルの主催者・参加者向けに運動やコグニサイズなどの内容を指導して頂き、参加者自身が持ち帰って自分たちで取り組めることを目的とする	1:高齢者	5	①6/22(運動)②7/27(運動)		
9	協力医による健康講座	令和4年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	地域住民の健康・介護予防意識の向上につなげる。	5:地域	5	①4/12②5/10③8/23④9/27⑤11/8⑥12/27⑦1/24⑧3/1 ※内容は来館した地域の方による健康相談		
10	保健活動推進委員と川井地域ケアプラザの懇親会	平成29年度	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	年度初めに顔合わせをし、年度内の自主事業等の連携につなげる	5:地域		①5/31 ・パートナーシップ研修 ・自己紹介 ・今年度事業の説明、連携と役割分担		
11	健康ひろば	平成27年度	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	健康に興味を持ち、健康的な生活習慣や介護予防のきっかけづくり。ケアプラザと顔の見える関係づくり。	5:地域	1	11/18 介護予防につながる活動団体の体験会など(5職種と連携)		
12	協力医ケアマネ懇談会	平成30年度～	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	・川井地域ケアプラザの協力医である御殿山クリニック岩崎院長を招き、地域で活動するケアマネージャー等が情報交換を通じた交流を図ることによりネットワークづくりの場とする。	7:その他	6	・年3回 内容:訪問診療等の医療連携に関する課題、担当ケースの医療面での不安などを協力医を交えて情報交換		
13	楽しく親子リトミック	平成29年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	・未就園児を対象に親子のコミュニケーションを深め社会性、協調性を身につける。 ・保護者の仲間作りの場とし、母親のストレス発散と運動不足解消を図る。	4:子ども・青少年		①あいさつ ②CDに合わせて準備体操 ③ピアノに合わせてリトミック体操 ④座って手遊び ⑤身体を動かす ⑥絵本読み聞かせ ⑦雑巾がけ		
14	お習字キッズ	平成24年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	学年の違う子ども達の交流を通して、地域の中での繋がりを作る。 また、子ども達に自由な発想や可能性を広げるきっかけ作りとし、楽しめる時間とする。	4:子ども・青少年		・基本的な筆運びの練習 ・ひと月に1枚のお手本を講師にもらい、練習する ・かわいい文化祭や夏祭りで展示する。		
15	小学生夏休みイベントロボット講座	令和5年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	小学校教育に「プログラミング」授業が採用となったことを受け、子どもの頃からプログラミングに興味を持ってもらえる事業を提供し、児童やその保護者にもケアプラザに親近感をもって頂く機会とする。	4:子ども・青少年		サイエンスの児童講座を多く手掛ける元民生委員(他地区)を起用し、一度は見たことのあるロボットを動かしながらプログラミングについて無理なく触れる機会を提供する。		

■ 事業

- 1：地域活動交流事業      2：地域包括支援センター運営事業
- 3：生活支援体制整備事業      4：共催（1と2）      5：共催（1と3）
- 6：共催（2と3）      7：共催（1と2と3）

■ 事業の性質

- 1：優先的に取り組みが求められる事業
- 2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業

■ 主な対象者、従たる対象者

- 1：高齢者      2：障害児・者      3：養育者及び乳幼児
- 4：子ども・青少年      5：地域      6：事業者
- 7：その他

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
16	小学生夏休みイベント 旭高校ダンス部と一緒に踊ろう	令和5年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	「横浜港へ行く」の内容修正版として夏場の外出を避け、室内で体を動かせる児童講座を通してケアプラザに親しんでいただく機会とする。旭高校生には児童への指導を通して地域活動やボランティア育成を目指す。	4:子ども・青少年		夏休み期間を使って実施。エリア内の県立旭高校ダンス部によるダンス指導と、その後は音楽に合わせて高校生と地域児童交流を図る。		
17	上川井ふれあい保育	令和4年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	エリア内幼稚園の実施する園庭開放「ふれあい保育」の場に地域交流職員も同席し、広く子育て支援中の保護者にケアプラザの乳幼児事業や横浜市子育て支援者の相談会情報等の提供を行う。	3:養育者及び乳幼児		毎週水曜日に実施される同活動のうち、第3水曜日に職員が参加し子どもたちや保護者との交流をはかり、ケアプラザや旭区で実施されている子育て情報の提供を図る。		
18	ダイバーシティけあぶら音楽会	令和4年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	演者には当事者を迎え、音楽に親しみながら、彼らの有する「障壁」についての偏見を払拭する機会とする。当事者の表現の場の提供と、当事者理解をめざす。	2:障害児・者	5	演者には(参加者の)赤ちゃんの泣き声や障害特性による発語や不随意運動が生じる可能性を予め伝え、観客にも障害特性への理解を求め、多様性に向き合い理解しあえる音楽空間を築く。演奏会は2部制とし、途中に演者の障害や疾病についての説明も盛り込む。		
19	ピリープ	R04	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	エリア内の県立旭高校生をボランティア起用し県立三ツ境養護学校との生徒交流を通して障害理解と生徒間交流を深める。	4:子ども・青少年	4	全6回で1曲手話を使ってマスターする。簡単な挨拶と自己紹介も覚え、聴覚障害者との書記コミュニケーションツールとしての活用を見据える。		
20	ピアノソング	平成21年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	・ピアノの伴奏で大きな声で歌うことにより、ストレスが発散でき、脳の活性化、健康増進に役立つ。 ・他の人と交わることで地域のつながりを図る。	1:高齢者		・歌集に掲載の歌、季節に合った歌、はやりの歌などを唄う。 ・講師のリードで、お口の体操の後、プログラムに従って合唱する。 ・途中にリクエストタイムなども設け、リズムを変える。		
21	らくらくピアノ	令和5年度	1:地域活動交流事業	2:発展させるねらい	自宅に眠っているピアノの有効活用。また2本指から始められるシニアにやさしいメソッドを使った介護予防活動。高齢者同士の交流を深めていただきながら成功体験、達成感などの感動を共に共有していただく機会とする。	1:高齢者		全6回講座で1曲(個人によっては数曲)を弾けるようなプログラムを講師から提供いただく。		
22	学習サロン	平成29年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	課題を抱えた子ども達の居場所づくり。学習支援を中心とした地域小中高生の交流、地域の中で子どもを支えるボラ活動の場づくり、多世代交流。また、互いに学びあえる支援システムの構築	4:子ども・青少年		・持参したドリルや学習プリントの教材を、旭高校生のボランティアが指導する ・個別に、卓上ホワイトボードを利用して指導する		
23	川井小学校福祉教育	R3年度	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	各種障がい者啓発や高齢者理解の講座を通して、マイノリティな方々を思いやる気持ちを育む。	4:子ども・青少年		学校側の依頼をもとに企画実施とする。概ね年末の人権月間(12月)頃の実施見込み。		
24	都岡小学校福祉教育	平成29年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	小学校ニーズにお応えする形で、ケアプラザとして提供しうる福祉啓発事業を行う。活動を通して、小学生との交流、顔の見え関係づくりの構築を目指す。	4:子ども・青少年		学校側のニーズを受けてから内容を計画する。		
25	都岡中学校福祉教育 (生活福祉委員会)	R03	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	車いす体験を通して、他者への理解を育む。	4:子ども・青少年	4	ケアプラザ多目的ホールを利用し、車いすの正しい使用方法を理解する。併せてデイサービスの高齢者交流を実施。2グループにわかれて活動。		
26	川井健康ウォーキング	令和3年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	地域支えあい連絡会と協働実施する。地域を歩くことで地域に親しみ地元再発見を通して地域交流につなげる。	5:地域		ケアプラザで実施している「散歩の会」の企画の一部を旧支えあい連絡会(現、地区社協)の主催、CPは事務局(後方支援)にシフトして実施する。		
27	栄養ワンダー	令和5年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	日本栄養士会の協力を得て、地域の配食・会食・サロン活動提供者を中心に食育や衛生に関する情報提供を行う。	5:地域		日本栄養士会の栄養士による栄養講座(座学)を提供する。		
28	散歩の会	平成20年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	・一人では出歩くのが億劫な方に一緒に歩く機会を設ける。 ・運動不足の解消の一助とし、新しい友達と交流する楽しさを知って頂くことを期待する。	5:地域		・季節の移りいを感じながら歩き、地域を見ながら歩く。 ・春は桜、新緑、秋は紅葉を楽しむことのできるコースを設定する。		
29	菜園隊	平成26年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	地域の方と一緒に「野菜を育てる」という活動を通して、①土に触れる場の提供、②多世代交流、③野菜の栄養、育て方について学ぶ機会の提供④農業ボランティアの活動の場の提供を図る。	5:地域		(4月～6月) 夏野菜種まき、苗植え付け (6月)           じゃがいも掘り(一般参加者募集) (7月～9月) 夏野菜収穫 (9月～10月) 冬野菜種まき、苗植え付け (11月～3月) 冬野菜収穫 (随時)       野菜の育ち具合をレポートにまとめ掲示(参加者で作成)		



■ 事業

- 1：地域活動交流事業 2：地域包括支援センター運営事業  
 3：生活支援体制整備事業 4：共催（1と2） 5：共催（1と3）  
 6：共催（2と3） 7：共催（1と2と3）

■ 事業の性質

- 1：優先的に取り組みが求められる事業  
 2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業

■ 主な対象者、従たる対象者

- 1：高齢者 2：障害児・者 3：養育者及び乳幼児  
 4：子ども・青少年 5：地域 6：事業者  
 7：その他

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
30	ナイト骨盤体操	平成28年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	・生活習慣によるゆがみが出る骨盤を本来あるべき位置に調整し、健康への関心を高める ・CPを利用した事のない方や、働いている方にも興味をもって参加していただく。 ・部屋の利用が少ない夜間の活用	5:地域		・骨盤エクササイズ ・全身の調整		
31	かわい文化祭	令和3年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	貸館利用団体及び、有志地域住民、エリア内の障がい者施設に呼びかけを行い、文化活動で得られた作品を披露する場とする。 演芸活動者には「クリスマス発表会」があり文化活動者にとっての発表の場と位置付ける。	5:地域		全館を展示会場として、広く日頃より福祉保健活動にそまされる皆さんの作品をお預かりして、土日2日間の作品展示会。障がい者施設は各施設リーフレットの掲示も推奨し、住民周知を促進する。		
32	登録団体説明会	平成25年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	貸館抽選会とは異なり、貸館利用中の困りごとやボランティア相談にも対応する。	5:地域		貸館を利用されるすべての方が気持ちよく活動いただけるように、日頃発生する貸館利用時の困りごとを共有・解決し、全団体に向けて利用目的と理解を深める。		
33	サマーフェスタかわい	令和3年度	7:共催（1と2と3）	1:優先的に取り組み	コロナ禍で開催不可となった夏祭りに代わって規模を縮小して安全に移動させる目的。障害当事者のボランティア起用をするなど、障害啓発を広義の目的として位置付ける。障害理解と啓発を促進する。	5:地域	2	毎年8月の第4土曜日に開催。 今年度は車イスユーザーと全世代の交流ポッチャを検討している。		
34	ギターCLUBかわい	令和3年度	1:地域活動交流事業	2:発展させるねらい	自宅に眠っているギターの活用を通して特に地域活動に参加の乏しい男性陣の集客を目指す。	5:地域		講師に法人内通所介護事業所職員が協力することで事業費をかせずに地域交流活動を目指す。ケアプラザ付帯のデイサービスを中心としたボランティア演奏会を定期的に行い自主化を目指す。		
35	けあぶらガーデンPJ	令和3年度	5:共催（1と3）	1:優先的に取り組み	整備・育成・収穫まで有志ボランティアが主体となって月1回程度の手入れをしながら交流を図る。他の事業とのタイアップ企画を検討する。	5:地域		整備・育成・収穫まで有志ボランティアが主体となって月1回程度の手入れをしながら交流を図る。他の事業とのタイアップ企画を検討する。		
36	貸館抽選会	令和3年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	貸館利用団体に向けた公平な予約会の提供を目指す。併せて貸館利用時のルール説明や事業案内、福祉保健に関わる情報提供の場としても活かす。	5:地域		2か月先、3か月先の貸館予約の順番を抽選により決定し、毎回引きという公平性を維持しながらのお部屋の予約提供を行う。		
37	よこはまシニアボランティアポイントカード登録研修会	平成30年度	7:共催（1と2と3）	1:優先的に取り組み	介護予防や高齢者の社会参加のきっかけとして横浜市の取り組みを推奨し、元気な高齢者の新規ボランティア育成を目指す。	1:高齢者	1	年2回以上の定期実施と地域住民のニーズがあれば、不定期開催も加える方向で検討したい。		
38	ちょこっとボランティアかわいスキルアップ研修会	令和4年度	3:生活支援体制整備事業	1:優先的に取り組み	ボランティアメンバーのスキルアップを目指し、ボランティアメンバー同士の連携がとれるように年2回の研修会を実施予定。	5:地域	1, 5	スキルアップ研修は、夏と冬に年2回予定。 ボランティアの依頼内容が多いものを運営小委員会にて検討中		
39	ポッチャを知らう！楽しもう！	令和5年度	4:共催（1と2）	1:優先的に取り組み	ポッチャを通して障がい者、高齢者との交流を自然に楽しみながら多世代交流を図る。エリア内学校、諸団体との連携により地域でのポッチャ普及と自然なかかわりによる見守りに繋げる。	5:地域	1, 2, 4	ジュニアボランティア、学校PTA、民生委員等へも声掛けを行う。障害を有するボランティアを起用し、試合を通して障がい者を身近に感じてもらえる機会とする。時期はPTAや各種団体と現在調整中。		